

令和6年度 社会教育委員 第3回定例会議の概要

1. 日時	令和6年10月11日(金) 14:00～16:00
2. 場所	市役所3階 302会議室
3. 出席者	<p>【社会教育委員】8名出席(児玉委員 柳澤委員 欠席)</p> <p>【市職員】小岩教育部長 湯原生涯学習課長、寺澤生涯学習係長、宮坂社会教育指導員、宮崎更埴図書館業務係長、町田スポーツ振興課長、平原文化課長、大友係長、小野歴史文化財センター主幹、近藤埴生公民館主幹</p>
4. 会議内容	<p>【委員会の進行状況】</p> <p>1. 開会(小林いせ子副委員長)</p> <p>2. ①あいさつ(小林京子委員長) 夏休みサマースクールへの協力、ありがとうございました。</p> <p>3. 会議事項(小林京子委員長:進行)</p> <p>(1) 上半期各課事業報告について(寺澤係長) 資料により上半期4月～9月までの各課事業報告。</p> <p>① スポーツ振興課(町田課長) スポーツ推進委員定例会は月1回、活動としてワンふらバレーとボッチャの体験会をしている。長野県市町村対抗駅伝競走大会、小学生駅伝競走大会への参加があった。第10回千曲川ハーフマラソンに向け、準備している。国民スポーツ大会(佐賀)のハンドボール競技に千曲市より職員を派遣した。小学生の「夢の教室」は16クラスの5年生を対象に行っている。ボッチャの風神雷神長野大会は、国民スポーツ大会の啓発も兼ねて実施した。パリオリンピックアーティスティックスイミングに千曲市和田彩未選手が出場し、パブリックビューイングを実施した。更埴市民プールは、16,509名の利用があった。</p> <p>② 歴史文化財センター(小野主幹) 歴史文化財センターを5月1日より、旧上山田庁舎に移転した。6月には古代米お田植を行った。屋代小学校旧本館耐震改修工事に向け、地元と意見交換している。</p> <p>③ 文化課(平原課長・大友係長) 千曲市文化芸術協会総会を実施。5月に第15回千曲市総合芸術祭を行った。942名の入場があった。4月には、上山田文化会館誕生祭を行い、清掃を行った。9月16日には、さざなみ音楽祭を行った。925名の入場があった。5月には、8高校美術展、6月～7月には郷土ゆかりの作家展を行った。</p> <p>④ 図書館(宮崎係長) 6月に千曲市立図書館協議会を行った。第4次千曲市子ども読書活動推進計画の策定に向けてのこと、コンピュータシステムの更新、更埴文化会館改修に伴う更埴図書館の一部閉鎖についての対応などについて説明した。子ども向けのおはなし会を5回、他に、ブックスタート事業、セカンドブック事業を行っている。</p> <p>⑤ 人権・男女共同参画課(寺澤生涯学習係長) 地区人権教育研修会、ふれあいセミナー、男女共同参画セミナー、人権を守</p>

る市民集会等を行っている。

⑥ 市公運協（近藤主幹）

市民講座は、気象予報士の平井信行さんの講演会を行った。367名の参加。消防団員にも参加してもらった。成人式は、令和7年1月12日の予定。公民館事業としては、稲荷山、戸倉では5年ぶりの運動会が行われた。公民館報は100号となった。11月11日の戸倉上山田中学校のトークフォークダンスへの参加をお願いしたい。

⑦ 生涯学習課（寺澤係長）

少年補導委員については、「ちくま青パト隊」の愛称で活動をしている。大池の事業は5回行い、のべ102名の参加があった。更級小学校の放課後子ども教室は、登録児童61名で実施している。子ども会リーダー研修会を3回実施。海の生活体験交流会は、射水市へ千曲市児童18名参加、山の生活体験交流会は、21名参加し、交流を深めた。一日林間学校は3日間で127名の児童が参加した。

(2) 各種研修会参加について（寺澤係長）

7月9日 信州型コミュニティースクール推進セミナー 5名参加

9月11日 長野県社会教育研究大会 4名参加

(3) 今後の事業等について（寺澤係長）

10月19日（土）午後1時「地域ぐるみの共有フォーラム」

ここで、小林京子委員長が発表予定の「サマースクール」について、発表。子どもの居場所づくりの活動を、今年「サマースクール」ということで実施した。コロナ禍を経て、子どもたちの夏休みの過ごし方に疑問を感じて、計画した。子どもたちと共に活動を考え、宿題や学習、遊び、食事の用意、体験活動などを行った。社会教育委員にも協力してもらって、自宅を会場に7月29日から8月2日まで1週間実施した。参加児童は1日当たり20人近く。参加した児童、保護者に大変好評であった。

令和7年1月26日（日）千曲万博において、今年度実施できなかった「こどもびろば」で行っている木工教室、折り紙教室、千曲かるたなどを実施したい。社会教育委員の方の協力をお願いできればと思っている。

(4) 千曲坂城クラブ（中学校部活動）の活動状況について

（宮坂社会教育委員）

①部活動地域移行の背景

生徒・保護者の多様なニーズ

少子化に伴い、成立が難しい部がある

教職員の献身的努力から生じる課題

②移行のスケジュール

令和8年度、千曲市・坂城町では、部活をクラブに完全移行する。

③千曲坂城クラブの基本理念

すべての子どもたちにスポーツ・文化芸術活動を保障する。

④クラブ組織

安心・安全を保障し、信頼あるクラブにするためにコンディショニングサポートスタッフ、体罰・ハラスメント相談窓口を設けている。

⑤令和6年度クラブ概況

会員数1063名、指導者244名。年会費3000円。「ポッチャ専門部」「歴史・科学専門部」「総合文化専門部」の新設。10専門部での平日の活動試行。

⑥オンライン指導者研修

ホームページから動画を見て研修ができる。

⑦最大の課題

持続可能なクラブ運営をするための財政基盤を模索している。今後、国などからの補助金があるか不透明であり、会費をどう設定していくか、検討する。賛助会員も募っている。

⑧生涯学習につなげる

総合文化専門部では、公民館で地域の講師が中学生に指導して活動している。これは、生涯学習につなげていけるものであろう。この部活の地域移行は、地域の絆づくりでもある。

4. その他（寺澤係長）

（1）北信地区社会教育委員連絡協議会 第3回 理事会

令和7年1月31日（金） 於：千曲市稲荷山公民館 委員長対応

（2）千曲市社会教育委員 第4回 定例会

令和7年2月 7日（金） 於：千曲市役所 302会議室
午後2時から（予定）

5. 閉会（小林いせ子副委員長）

【主な協議・意見・要望等】（進行：小林京子委員長）

（○は社会教育委員の質問、▲は事務局からの答弁）

3. 一（1）に関すること

①文化課

○堀口委員

文化芸術協会の理事のそれぞれの理事の出身分野はどこか。市民に見てもらったり参加してもらったりすることなので、バランスが大事。

▲大友係長

絵画、踊り、パソコン、朗読、民謡、などである。地域ごとに人口に合わせて人数のバランスをとっている。各支部の会長や各団体から選んでいる。

②図書館

○小林いせ子副委員長

司書の方々が頑張っており、その成果が楽しみ。工事があるが、利用する人の立場になってやってほしい。

③公民館

○小林いせ子副委員長

公民館報は、100号ということでカラー刷り、増ページで発行した。成人式の号もカラーでお願いしたい。

▲近藤主幹

写真のところは、カラーでやっていきたい。

○小林委員長

分館についての情報も載せてほしい。

○小林いせ子副委員長

市民講座の入場券の配布枚数と、入場者数が違うのはどうしてか。

▲近藤主幹

もともと無料のもの。各公民館で配布したもので、都合など個人の事情があったのでは。

3- (3) に関すること

○丑丸委員

チラシはどのように配ったか。

▲小林京子委員長

八幡っ子教室、親子体操教室などで配布した。あとは、“つて”で広がった。

○丑丸委員

八幡の子だけでなく、別の小学校の子も参加できていたのがよい。車の送迎があったが、どう準備したか。また、会場は、公民館など公のところがよい。通学合宿に発展していけたらいい。

▲小林京子委員長

車の送迎については、保険に加入した。会場は分館を使いたい。たとえば、水曜日に下校の見守りをしている地域の方が分館に来て、子どもたちと活動するとか、考えられる。分館をもっと活用したい。

○小林いせ子副委員長

サマースクールは子どもを甘やかす場所ではない。自宅が会場ということで、公私の線引きが必要である。

▲小林京子委員長

特にトラブルはなかった。

3- (4) に関すること

○丑丸委員

指導者の数は足りているのか。

▲宮坂社会教育指導員

部によって違う。ポッチャ専門部は多いので、指導日を分担している。総合文化専門部に協力したいという方は何人もいる。スポーツ系は、それぞれ事情が異なるようだ。

○小林京子委員長

柔道は、けがが多い競技であり、指導者が少ない。

○丑丸委員

部員も多くないので、部員が少ないので合同チームでやらざるを得ないところもある。柔道は、篠ノ井地域と一緒にやるなど、臨機応変にやったほうがいい。

○小林いせ子副委員長

長野市や松本市のような大きなところはどうなっているのか。

▲宮坂社会教育指導員

千曲坂城クラブは、地域移行については、進んでいる。研究の対象になるくらいである。

○丑丸委員

先生の中では、部活に熱心な方もいる。その人たちは、どうしているのか。

▲宮坂社会教育指導員

指導者登録をしてもらっている。

○堀口委員

希望が多い場合は、第一希望、第二希望のようにするのか。また、部活動をすることが、進学する場合の内申書のようなところで有利になることはあるのか。

▲宮坂社会教育指導員

第一希望がいっぱいだから、第二希望に回るといことはしない。有利になるということはない。毎日毎日、頑張るといより、週1~2回などゆるくやるという子も多い。

○小林京子委員長

本当に強くなりたい子は、野球ならリトルリーグのようなところに行く。それぞれやりたいように活動するのが、今の時代。

○堀口委員

中学校の部活で保護者が大変なのは、送迎。また部活のお金のことなど、先生がやるのは大変なので、肩代わりしてもらえればいい。

▲宮坂社会教育指導員

それぞれの専門部に事務局がいる。指導者とお金などをやる人を分けているが、学校の先生で事務局をやっている人は大変だ。保護者会については、今後、模索する。

○大谷委員

令和8年度から全面移行ということだが、上田市や長野市はそこまで取り組んでいない。進んでいるといえば聞こえはいいが、上田市や長野市はそれぞれの学校でしっかりやっているのでは？全体的な流れと、千曲坂城クラブの行きつく方向はどうか。経済的な負担については、行政の方で、考えてもらわないと困る。財政の裏付けがなくて進めているのではないか。

▲小岩部長

千曲市は、山根コーディネーターを中心に動いている。お金の面は課題だが、国の補助金をいただいて、先進的に取り組んでいる。部活の地域移行は

やらなければいけないことである。長野、上田、松本のようなところでは、教育委員会で進めるということはしておらず、地域に任せている部分がある。小さい町村では、また、難しい。地域の子どもは地域で育てるということがベースである。地域の方の力を出していただくいい時代になっていると考えている。令和8年度の完全移行を目指して、やっていく。

古墳館での歴史・科学専門部の草取り活動、さざなみ音楽祭への吹奏楽専門部の参加など、成果や実際の活動を社会教育委員のみなさんに承知いただき、応援して行ってほしい。

バドミントンは、指導者に対して部員が多い状況であるが、千曲市にいる学生などがコーチとして参加するなど広がりが見えて来ている。

○小林京子委員長

長野市ではスポーツ協会がなくなって、総合型スポーツクラブが市からお金をもらってそこで部活の支援をしている。部活の地域移行は国の方針であるが、市町村によりやり方は違う。

○丑丸委員

スポーツなどをやるには、お金がかかるという時代になっている感じがする。

○大谷委員

千曲市は、ここまで進んでいるのだから、ぜひ予算を付けて行ってほしい。

▲小岩部長

市長には話をさせてもらいたいと思っている。

○小林京子委員長

お金をもらって活動していても、補助金がなくなったら活動が続けられずやめてしまったクラブはいくつもある。お金がないことで、犠牲になるのは子どもたちなので、継続するにはどうしたらいいか考えてほしい。

○堀口委員

大会などに出るときは、出身中学の名前が出るのか、クラブの名前が出るのか。

▲宮坂社会教育指導員

部によって異なる。今の課題の一つ。

○丑丸委員

今年の中体連の結果を見ても、〇〇クラブという名前がある。かつては、学校の顧問（教員）がやっていたので、学校の名前であった。今後は「千曲坂城クラブ」となるのであろう。